

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2006-523762(P2006-523762A)

【公表日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2006-509923(P2006-509923)

【国際特許分類】

C 09 B	67/46	(2006.01)
C 09 B	67/04	(2006.01)
C 09 D	17/00	(2006.01)
C 09 D	11/00	(2006.01)
B 41 M	5/00	(2006.01)

【F I】

C 09 B	67/46	A
C 09 B	67/04	
C 09 D	17/00	
C 09 D	11/00	
B 41 M	5/00	E

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月10日(2007.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

変性有機着色剤分散液を製造する方法であって、次の工程すなわち

a) i) 少なくとも1個のエステル基を有する少なくとも1種の有機化学種を含む有機着色剤、i i) 水酸化物試薬及びi i i) 水性媒質を任意の順序で一緒にして、前記水酸化物試薬と前記有機着色剤とを反応させて、変性有機着色剤分散液を形成させ、そして

b) この分散液中の変性有機着色剤の粒子サイズを350nmより小さいか又は等しい粒子サイズに低減する

工程を含む方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

変性有機着色剤分散液を製造する方法であって、次の工程すなわち

a) 少なくとも1個のエステル基を有する少なくとも1種の有機化学種を含む有機着色剤の粒子サイズを500nmより小さいか又は等しい粒子サイズに低減し、そして

b) i) このサイズ低減有機着色剤、i i) 水酸化物試薬及びi i i) 水性媒質を任意の順序で一緒にして、前記水酸化物試薬と前記サイズ低減有機着色剤とを反応させて、変性有機着色剤分散液を形成させる

工程を含む方法。